

関係各位

2012年4月3日

オプテックス・エフエー株式会社  
総務課 広報IR担当

## 食品業界向け、3分の1の低価格・簡単操作 3D画像検査装置「3D-Eye5000シリーズ」を発売

オプテックス・エフエー株式会社（本社：京都市、代表取締役社長：小國勇）は、2012年4月上旬、子会社の日本エフ・エーシステム株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：小國勇）と共同開発した3D画像検査装置「3D-Eye5000シリーズ」を発売します。

3D画像検査装置「3D-Eye5000シリーズ」は、3Dカメラとレーザ光源により、対象物の表面形状を計測・検査し、外観不良を検出するシステムです。当社が得意とする食品業界向けに専用開発し、低価格と簡単操作を実現しました。（価格は従来シリーズの3分の1以下の300万円からです。）

食品業界では、従来方法として光電センサや2次元画像センサなどを用いて検査していますが、小さな欠けや割れ検査ができない、光沢や色など表面状態の影響を受ける等の問題がありました。また、従来の3D検査装置は超高速・高精度のものがありますが、取り扱い操作と価格の面で、現場ではあまり普及していませんでした。

本製品は、低価格と簡単操作を実現したことで、食品業界での長年の課題の解決にお役にたてる3D検査機です。検査用途としては、以下のものなどが挙げられます。

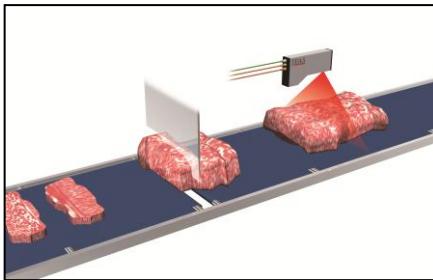
- (1) クッキー・ビスケット・せんべいなどの割れ欠け検出
- (2) まんじゅう・チョコレートなどの形状不良検出
- (3) カップアイスクリームの充填量検査
- (4) 肉、魚の切身の重量予測検出

今後もオプテックス・エフエーは「高品質、だけど低価格。」を営業方針として、お客様の利益向上につながるFA製品を開発してまいります。

&lt;製品写真&gt;



＜測定例＞食肉工場ラインでの体積検査



■ 国内販売数目標（2012年）：30台

■ 価格 300万円～

■ 仕様

型式	3D-Eye 5000-30	3D-Eye 5000-50	3D-Eye 5000-100	3D-Eye 5000-200	3D-Eye 5000-300
高さ検出範囲 (mm)	200～233	184～268	260～410	265～660	280～1200
高さ分解能 (mm)	0.015	0.04	0.05	0.2	1.2
幅検出範囲 (mm)	60～68	135～180	180～270	440～810	440～1400
幅分解能 (mm)	0.06～0.07	0.13～0.18	0.18～0.26	0.43～0.79	0.63～2.00
外形寸法 W×D×H (mm)	310.7×69.1×161.7			403.7×69.1×161.7	

■ 会社概要

オプテックス・エフエー株式会社（2011年12月末現在）

設立：2002年1月7日

代表取締役：小國 勇

資本金：551百万円

事業内容：ファクトリーオートメーション用光電センサ関連機器、装置の  
製造・販売等

売上高：45億66百万円（2011年12月決算）

従業員数：100名（連結）79名（単体）

【本件に関するお問合せ先】

オプテックス・エフエー株式会社 【JASDAQ：6661】

総務課 広報IR担当 伊藤 誠 (E-mail: m-ito@optex-fa.com)

〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町91 京都リサーチパーク9号館5F

TEL: 075-325-2930 FAX: 075-325-2931

URL: <http://www.optex-fa.jp>